

群馬県林業講師派遣プログラムの概要

林業現場の事故の原因別割合（R1～R5）※群馬県

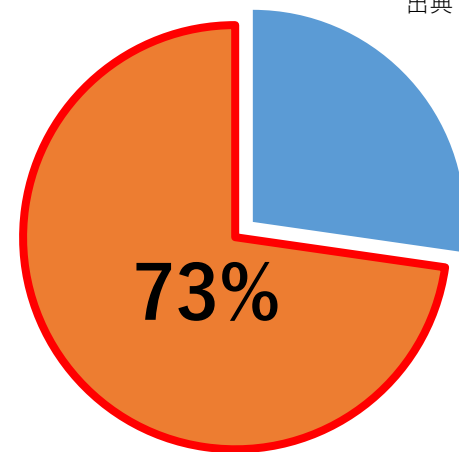
出典：群馬県林業振興課独自集計

【林業現場の課題（現状認識）】

・労働災害の発生率が減少しない

※高い水準で推移（危険）

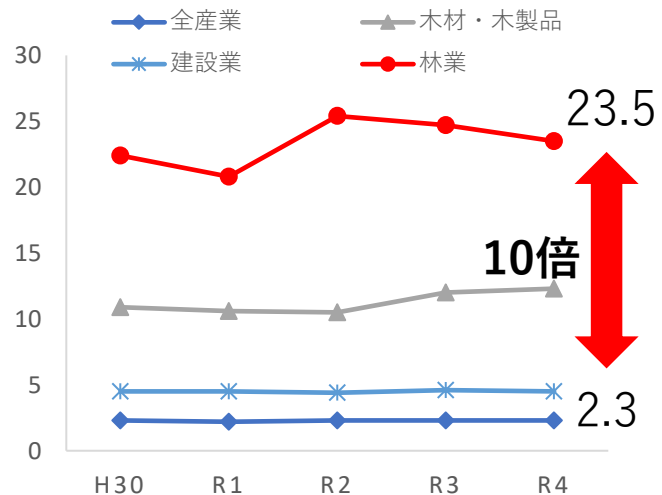
※特に林業経験が少ない従事者



■ 自然的 ■ 人為的ミス

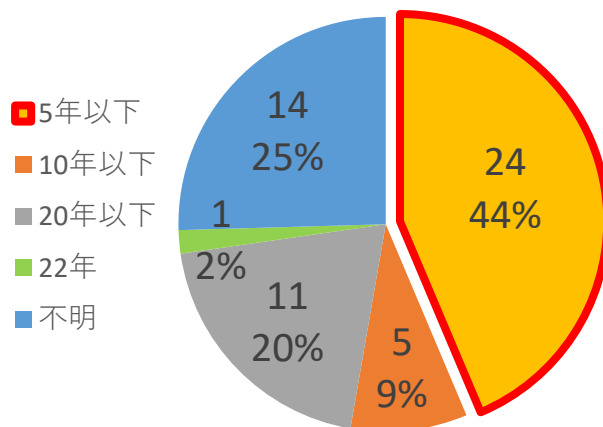
全55件のうち40件（約7割）が人為的ミスによるもの

産業別死傷年千人率（災害の発生率）※全国



林業現場の事故発生時の被災者の経験年数割合（R1～R5）※群馬県

出典：群馬県林業振興課独自集計



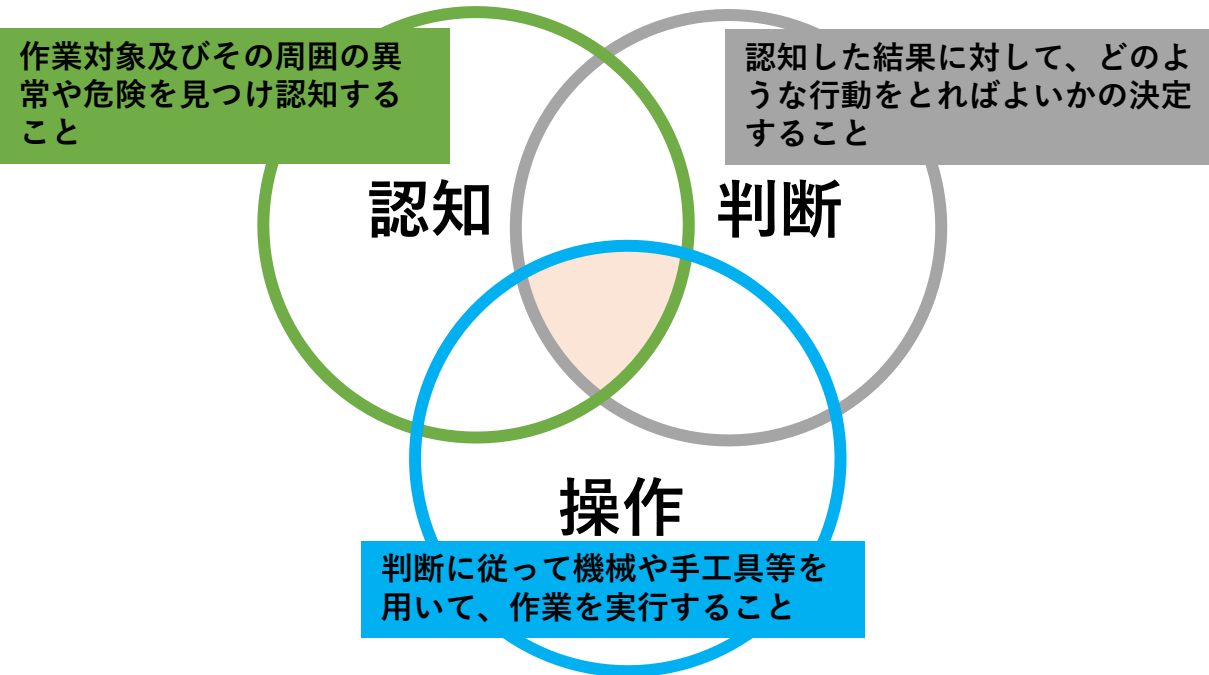
経験年数が5年以下の割合が約4割

林業現場技術者の『技術・技能』に課題

研修の方法（現場技術者の育て方）の見直しが必要

出典：労働者死傷病報告（厚生労働省）及び総務省労働力調査
※千人率とは、労働者1,000人あたり1年間に発生する死傷者数

林業の現場作業で重要となる3つの要素

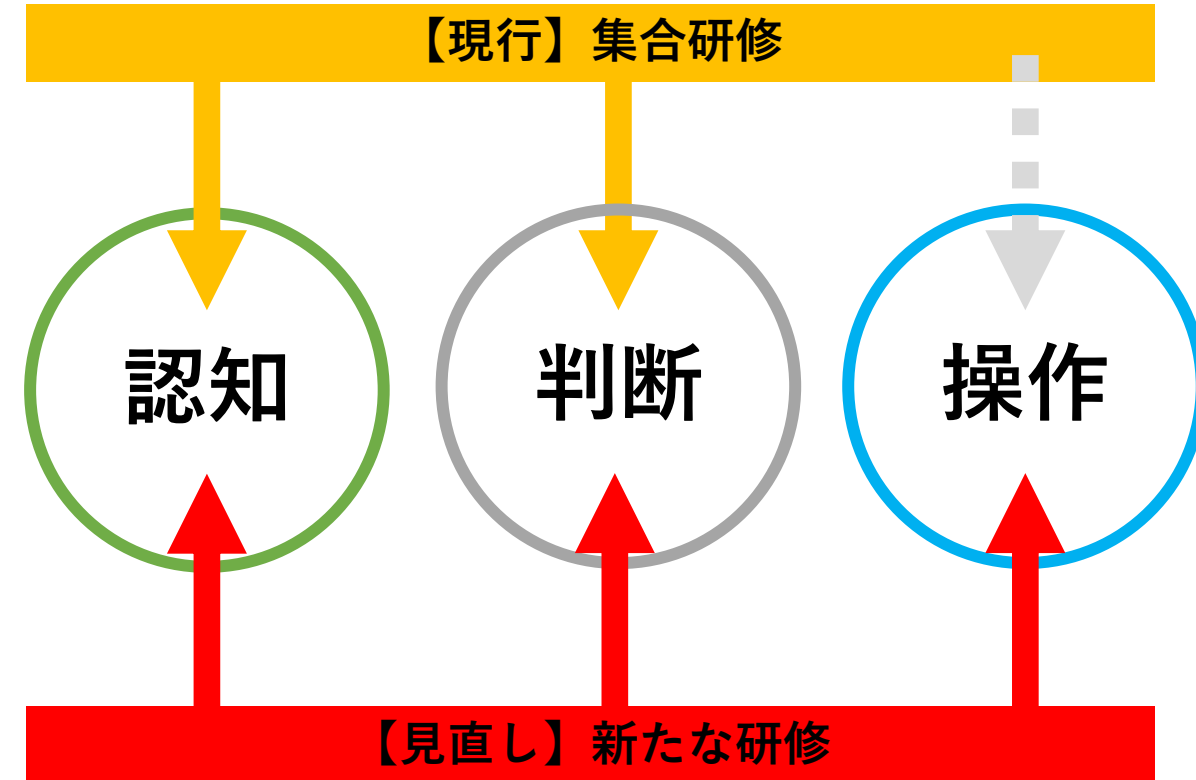


認知・判断・操作のいずれかにミスが生じると

事故が発生する

【現行】集合研修（全体研修）

- ・「認知能力」、「判断能力」の向上への対応は可能
- ・個々の「操作能力」の向上には制約がある



- ・「認知」、「判断」、「操作」**全て**の能力の向上が必要
- ・操作能力を向上させるための取組の**強化**が必要

- ・個々の能力に応じた、きめ細やかな研修
- ・個別指導型の研修

【現行】 集合研修（全体研修）	【見直し】 個別指導型の研修（講師を派遣）
<p>県が設定するテーマにて、県有林や農林大学校に受講生を集め、講師（1）：研修生（n）の関係で研修を実施。</p> <p>※現在はぐんま林業担い手対策として高性能林業機械、作業道の作設、伐倒技術3種類の集合研修を実施</p>	<p>事業者が必要とするテーマを設定し、事業者のフィールドに講師を派遣し、講師（1）：研修生（1）の関係で研修を実施。</p>
【課題】	【解決策】
<ul style="list-style-type: none">・認知、判断の能力を向上させることには適しているが、個々の操作能力を向上させるには時間的制約がある。	<ul style="list-style-type: none">・きめ細やかな研修を実施することで、認知、判断の能力に加え、操作能力を向上にも対応が可能。
<ul style="list-style-type: none">・研修実施内容と研修生が求めているもの（研修生のレベル）がマッチしていない。	<ul style="list-style-type: none">・事業者が必要とするテーマの設定が可能。・個別指導により研修生のレベルに応じた研修の実施が可能。
<ul style="list-style-type: none">・集合研修での研修環境（機械、地形、土質）が、実際の現場と異なる。※習得した知識が活用できない。	<ul style="list-style-type: none">・事業者のフィールドで研修で実施したことが、すぐに現場（実践）に生かせる。
<ul style="list-style-type: none">・どのような研修を実施しているかを雇用主や班長が把握できない。※研修で習得した技術や知識を否定される事例が生じている。	<ul style="list-style-type: none">・事業者が必要とするテーマの設定や雇用主や班長と指導方法の調整を行うことで、研修内容を共有することができる。
【研修効果】 研修人数（募集人数） 高性能9名、作業道6名、伐倒6名	【研修効果】 研修人数 講師派遣プログラム 10名 ※従来よりも質の高い研修の実施



研修生の認知・判断・操作の各能力が向上



現場でミスが減る→事故が減る

【群馬県林業講師派遣プログラム】

- ・ 全体研修（集合研修）から個別指導型の研修へ
- ・ 個別指導型の研修のモデル事例を収集（委託事業として）

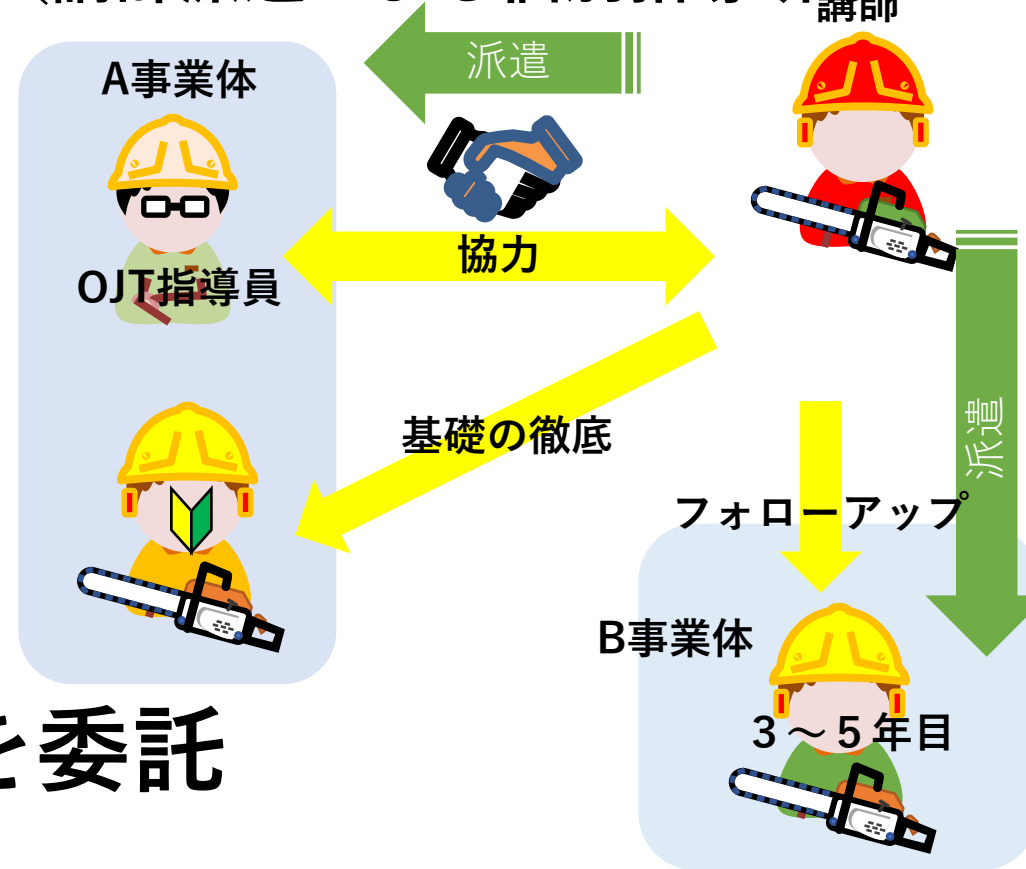
県でテーマ設定

研修企画を募集

試行・モデル研修を委託

試行・モデル研修

（講師派遣による個別指導研修）



研修ノウハウ
を公表・普及展開